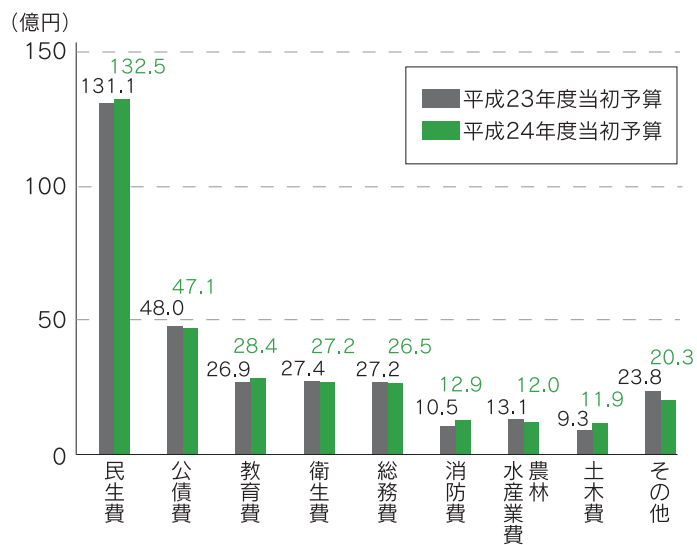


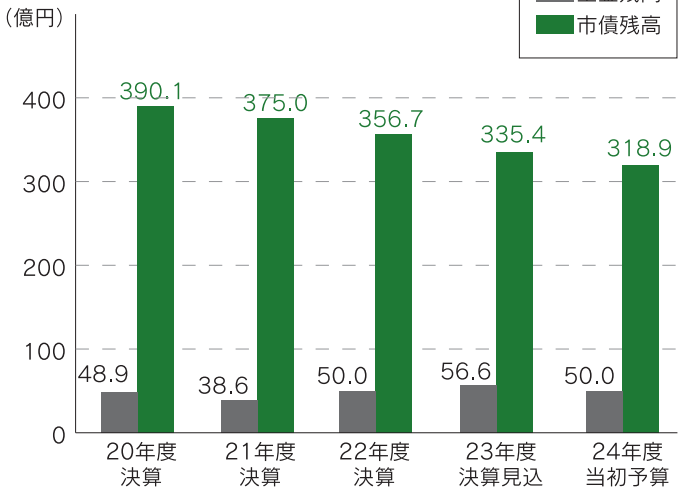
表② 目的別歳出の内訳

民生費	132億4,697万円 (1人あたりでは132,577円)	公債費	47億640万円 (1人あたりでは47,102円)	教育費	28億3,810万円 (1人あたりでは28,404円)
障害者福祉、高齢者福祉、児童福祉、生活保護、人権センター、あごらなど		借入金の返済		小中学校、図書館、博物館、体育施設、社会教育、文化財の保護、文化振興など	
衛生費	27億1,948万円 (1人あたりでは27,217円)	総務費	26億4,589万円 (1人あたりでは26,480円)	消防費	12億8783万円 (1人あたりでは12,889円)
ごみ処理やし尿処理、火葬場、健康推進事業など		戸籍、徴税、市役所の管理、校区まちづくり、バス運行費補助、選挙など		常備消防、消防団、地域防災など	
諸支出金	12億4,285万円 (1人あたりでは12,439円)	農林水産業費	11億9,691万円 (1人あたりでは11,979円)	土木費	11億9,224万円 (1人あたりでは11,932円)
基金の積み立てや下水道事業補助金など		農林水産業の振興、農林水産業施設整備、ファームパーク伊都国、交流体験広場など		道路、河川、公営住宅、公園、駐輪場など	
歳出総額318億6,515万円 1人当たりの予算 31万8,910円 1世帯当たりの予算 85万2,055円 ※平成24年3月末現在の人口、および世帯数 99,919人、37,398世帯で計算				その他	7億8,848万円 (1人あたりでは7,891円)
				議会費、商工費（商工業・観光の振興、九大との連携）、労働費（雇用対策など）、災害復旧費、予備費	

グラフ③ ■歳出予算額の推移(目的別)



グラフ④ ■基金と市債



※用語説明

人件費…職員給与など
公債費…市の借金の返済に充てる経費
扶助費…社会保障制度の環として、高齢者・児童・障害者などに行う支援のための経費

減少しています。

一方、農林水産業費は、漁港施設整備事業の減により、1億1326万円（8.6％）減少しています。

また市債残高は、投資事業を抑制してきたこともあり、年々減少しています。償還についても、同様に減少しています。

人件費や公債費、扶助費といった義務的経費が歳出総額の58％を占めています。人件費は職員給の減などにより1億9552万円（3.6％）の減となっており、公債費も、市債の新規発行を抑

投資的経費については、私立保育所整備事業や前原駅

南停車場線整備事業、防災行政無線整備事業の増などにより10億9533万円（60.7％）の大幅な増加となっています。また、繰入金についても、国民健康保険事業や後期高齢者医療などの特別会計への繰出金の増加により1億9783万円（5.9％）の増加となっています。

民生費は1億3612万円（1.0％）増加し、歳出総額の41.6％を占め突出した金額となっています。

市では、財源不足が生じた場合や将来に事業を行うために基金を積み立てています。平成24年度予算では特定目的のための基金からの繰り入れに加え、財政調整基金からの繰り入れを行い、今年度末で6億5746万円減の50億321万円の残高見込みとなっています。

歳出（性質別）（グラフ②）

制してきたことなどにより8989万円（1.9％）の減額となっています。また、扶助費は、子ども手当の制度改正などにより3億8751万円（4.4％）の減額となっています。

市では、行財政改革の推進による更なる歳出の削減や、医療費の削減に向けた市民の健康づくり事業推進を図り、また新たな歳入の確保をめざして企業誘致活動などにも取り組んでいます。

歳出（目的別）（グラフ③）

基金と市債（グラフ④）

平成24年度 当初予算の概要

“いとしま元気づくり”自立への道―超少子高齢社会への挑戦パートⅡ―

平成24年度の予算が3月の市議会定例会で可決されました。
平成24年度の予算は基本テーマに“いとしま元気づくり”自立への道―超少子高齢社会への挑戦パートⅡ―を掲げ、いとしま元気づくりを推進するための予算としています。
この基本テーマ実現のため、右の7つの基本方針を定めています。

基本方針

- ①重点プロジェクトの確実な実行
- ②いとしま健康まちづくり
- ③いとしま快適まちづくり
- ④いとしま環境都市づくり
- ⑤いとしま産業元気づくり
- ⑥いとしま安全・安心のまちづくり
- ⑦地域主権に向けた行財政改革の推進

平成24年度予算
総額590億7263万円
一般会計は318億6515万円
今年度の一般会計の予算は318億6515万円です。前年度と比較すると、1億4211万円（0.4％）増加しています。
ここでは、市の予算の基本となる一般会計を中心に、予算の概要をお知らせします。

歳入（グラフ①）

厳しい歳入状況

市税は、評価替えによる固定資産税の減などの影響により2億43万円（2.3％）の減額です。市税と並んで糸島市の大きな財源である地方交付税については0.3％減とほぼ同額で、昨年度と同様に市税を上回る予算額ですが、これは国の地方に対する財政対策の継続や合併団体への支援によるものです。
国庫支出金については、子ども手当や漁港施設整備事業の減などにより3億8504万円（7.7％）の減、県

表① 市民1人当たりの主な収入

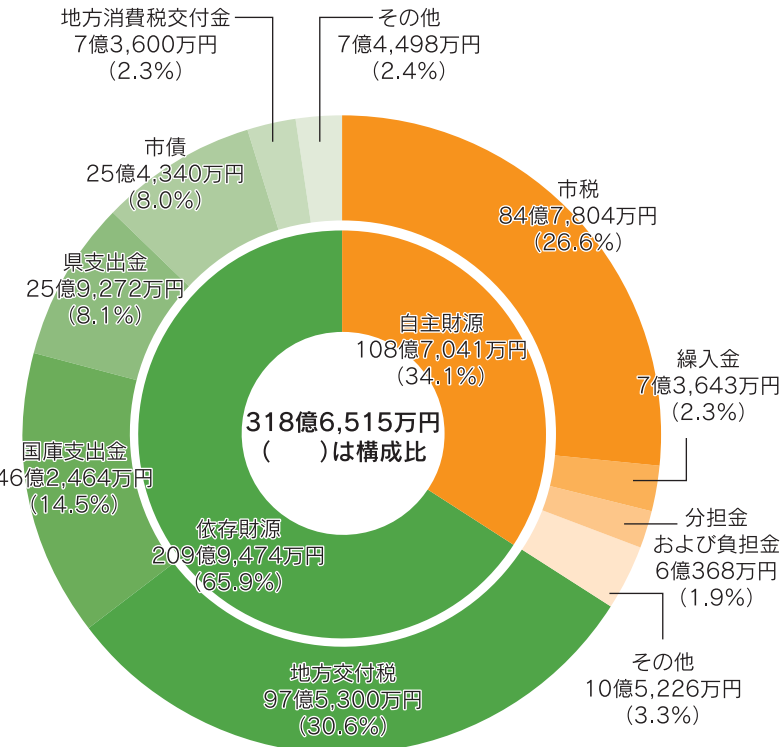
地方交付税	国・県支出金	市債(長期借入金)
97,609円	72,232円	25,455円

●市税のうち主なもの

市税	市税のうち主なもの		
	市民税	固定資産税	たばこ税
84,849円	39,329円	38,487円	5,088円

※平成24年3月末現在の人口99,919人で計算

グラフ① ■歳入



グラフ② ■歳出(性質別)

